

議会だより

第119号／2007.11



長野県坂城町工業団地



長野県小布施町研修

第3回(9月)定例会

おもな内容	ページ
●定例会で決まったこと	2
●一般質問(8名)	4
●臨時会、全員協議会を開催	10
●議会活動の報告	11

発行／長生村議会

編集／議会だより編集委員会



村の木「ラカンマキ」



村の花「ハマヒルガオ」

第3回定例会

平成19年第3回定例会を、9月20日・21日の会期2日間で開催しました。
本定例会では報告1件、認定5件、議案9件が上程されました。
認定は、一般会計他4特別会計の決算についてであり、決算審査特別委員会に付託。議案については、原案どおり可決しました。また、日程追加により議員派遣の件について提案がありました。
一般質問では、8人の議員が論議を交わしました。

決算審査特別委員会を設置

平成18年度長生村一般会計歳入歳出決算の認定について、長生村国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について、老人保健特別会計歳入歳出決算の認定について、公共下水道事業特別会計歳入歳出決算の認定について、介護保険特別会計歳入歳出決算の認定について、が監査委員の意見を付けて議会に提案されました。各会計の歳入歳出金額は、下記の表のとおりです。

一般会計の歳入で主なものは村税15億9313万9251円、地方交付税12億893万8千円、村債2億4460万円で、歳出の主なものは民生費8億1956万313円、総務費5億5957万1259円、教育費5億441万7146円です。

議会は決算審査特別委員会を設置、同委員会に付託し、議会閉会中の継続審査としました。

決算審査特別委員会には、次の7名が選出されました。

委員長	東間 永次
副委員長	高瀬美智子
委員	酒井 洋樹
委員	鈴木 征男
委員	高山 昌治
委員	田島 弘雄
委員	小泉 勝

平成18年度長生村会計別決算総括表

(単位：円)

会 計 名	歳 入 (A)	歳 出 (B)	歳入歳出差引 (A)-(B)=(C)
一 般 会 計	4,257,429,796	3,975,101,949	282,327,847
国民健康保険特別会計	1,461,579,345	1,378,916,966	82,662,379
老人保健特別会計	1,084,320,826	1,060,511,777	23,809,049
公共下水道事業特別会計	590,651,309	543,329,893	47,321,416
介護保険特別会計	711,737,599	678,365,028	33,372,571
合 計	8,105,718,875	7,636,225,613	469,493,262

平成18年度主要施策成果 (抜粋)

(単位：千円)

事 業 名	事 業 成 果	事業費
防災行政無線の整備・拡充事業	子局デジタル化更新工事 8箇所	26,485
ハートフルちょうせい推進事業	長生村ふれあい館の設置 鉄骨平屋延床面積 177.26㎡	25,882
健 康 診 査 事 業	各種ガン検診・基本健康診査等 受診者数 延 9,750人	38,804
夏 季 観 光 安 全 対 策 事 業	海水浴場監視業務委託、警察官詰所・救護所建て方、解体工事	9,728
道 路 改 良 事 業	村道3204号線(藪塚・金田地先)、村道1156号線(昭和地先) 村道2164号線(南部地先)	20,500
都市計画推進事務運営費	都市計画基礎調査委託、地名板設置工事、水口地先雨水排水整備工事 (2号水路)、鷺・入山津地先雨水排水整備工事 (5号水路)	38,559
小 学 校 施 設 補 修 費	高根小施設改修工事 (体育館、倉庫、トイレ、通路、電話) 一松・八積小プール塗装改修工事	7,622
文化会館イベント事業	各種イベントの開催 来場者 延6,849人	5,500
藪塚球技場整備工事	球技場施設整備工事 (グラウンド整備、バックネット塗装・張替、散水ポンプ設置、ダッグアウト設置、ネットフェンス張替 L=49.5m)	7,921
特定環境保全公共下水道	管渠建設工事 (管付設工 L = 2,906.4m、A = 8.1ha) 処理場維持管理	522,973

平成19年度 一般会計補正予算

既定の予算に、歳入歳出それぞれ1億6132万6千円を追加し、41億9868万円とする補正予算が提案され、可決しました。

歳入の主なものは、地方交付税や国・県負担金、繰越金等が確定したことによる補正です。

歳出の主なものは、介護支援や障害者自立支援事業費のほか、長生中の建て替えの積立金、八積小体育館の改修費や村の特産品「青のり」漁場

に揚水ポンプ設置の補助金等です。



青のり漁場の揚水ポンプ

下水道事業補正予算

既定の予算に、歳入歳出それぞれ87万8千円追加し、6億8987万8千円とする補正予算が提案され、可決しました。

補正の内容は、4月の人事異動による人件費37万8千円、今年度から着工の長生浄化センター増設工事にもなう周辺家屋への影響調査委託費50万円です。



長生浄化センター

9月定例会の審議結果一覧表

議案等番号	件名	議決結果	
報告第1号	諸般の報告（例月出納検査7月分）		
議案第1号	政治倫理の確立のための長生村長の資産等の公開に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全員一致
議案第2号	政治倫理の確立のための長生村長の資産等の公開に関する条例及び長生村手数料徴収条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全員一致
議案第3号	長生村個人情報保護条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全員一致
議案第4号	特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例制定について	原案可決	全員一致
議案第5号	工事請負契約の締結について（下水道管渠建設工事その31）	原案可決	全員一致
議案第6号	工事請負契約の締結について（下水道管渠建設工事その32）	原案可決	全員一致
議案第7号	平成19年度長生村一般会計補正予算（第3号）	原案可決	全員一致
議案第8号	平成19年度長生村公共下水道事業特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全員一致
議案第9号	平成19年度長生村介護保険特別会計補正予算（第1号）	原案可決	全員一致
追加日程	議員派遣の件について（長野県坂城町、小布施町にて視察研修） ※内容は、議会活動の報告（11ページ）に掲載	原案可決	全員一致

長生村 地域防災計画 について

田島 弘雄 議員

議員

村で指定する10ヶ所の避難場所に避難したとき何が使用できますか。また、停電時の自家発電設備と能力はどのくらいか、おたずねします。

村長

トイレと洗面所が使用できます。発電機につきましては、8台あり、100Wの電球に換算して27個分です。

総務課長

全ての避難場所に備蓄倉庫の設置を望むが、備蓄倉庫1ヶ所あたりの予算はどのくらいかおたずねします。

議員

平成20年度には各小学校に設置をしたいと思います。

村長

平成20年度には各小学校に設置をしたいと思います。

総務課長

3ヶ所で825万円です。平成23年度までに10ヶ所全ての避難場所に設置する予定です。

議員

防災計画の運用習熟について年間計画がありましたらお聞かせください。

村長

村の消防団第6支団の訓練が年2回行われます。

この秋10月28日に行われる訓練には地域住民の参加もお願いし、併せて訓練を実施する計画です。

総務課長

10月28日の第6支団を核とした訓練の参加人数は、団員が266人で地域の住民等合わせますと300人位です。



消防団秋季訓練

安全安心な 村づくりについて

議員

平成20年5月31日までに住宅用火災

報知機の設置義務が課せられておりますが、村として設置に対する啓発にどのように取り組めますか。

また、村営住宅にはすでに1世帯4ヶ所設置されたようです。

一般的には1ヶ所5千円で2万円、工事料金が1ヶ所2千500円で1万円、合計で3万円が必要となります。

低所得者・高齢者世帯等に設置費用の助成が必要と思いますが村の考えを伺います。

村長

消防法の改正に基づきご指摘のように設置が義務化されました。

広域市町村圏組合消防本部でもパンフレットを作り各自治会に回覧をし、啓発に努めているところです。

村でも広報等を利用して啓発に努めてまいります。

助成制度については考えていません。

総務課長

財源の問題もあり、個人的に付けるのが本来の筋と思います。

遊休農地の 現況と利用増進 について

緑川 千里 議員

議員

農業経営基盤強化促進法による、遊

休状態らしき農地が目につく昨今、村ではこれらの現状把握をどのようにしているのか伺います。

遊休地は、休耕地と異なり大変難しい問題ではあります。農地が高齢化や離農などの事情により、耕す意思が薄れ荒れることは、周辺の環境や村の活性化に良い影響はありません。

よって、過去に諸先輩議員が質問されたこのことについて、私も一つの課題として、村の対策をただすところです。

村長

農業経営基盤強化促進法に基づく遊休農地の実態については、村



遊休農地

の農業経営基本台帳及び農業委員会の調査で把握し、平成19年8月現在、村全体で80・5ha、うち要活用（整備済）農地は53・5haです。

利用増進等については、農業委員会を中心に、地域の担い手及び認定農業者へ農地の斡旋や農用地利用集積事業を行い、利用の集積が図られるよう農地の相談等を積極的に進めていることや、このような所有者には農地の適正管理をお願いしているところです。

19年度地方交付税減額決定を受けて

議員

去る8月の総務省発表によれば、平成19年度の地方交付税千葉県56市町村分は、前年比で6・5%減とされました。

ついては、長生村への19年度交付税額はどのようになったのか、その金額と前年比について伺います。

また、県内全体で2年連続マイナス傾向にある中で、村長は自立と言うが村の財政や中長期事業への影響など、将来展望に不安はないのか伺います。

村長

平成19年度交付税額は9億7684万7千円で、対前年比11・4%減です。

交付税額については、法人税割などの影響で、過去数年の対前年度比の推移に増減が見られ、不安定要素もありますが、各事業計画の策定にあたり、十分な将来見通しをする中で執行していくことが大切と認識しています。

また、交付税について私の認識では、国の税収は2006年では増えていることなどから、地方交付税の総枠が保

証され配分率が変わらなければ地方財源は増えるという考えです。

そして交付税の増減は、地方の要望活動や闘いの結果であると思いますので、村の将来に不安のないよう努力をしていきたいと考えますので、皆様にもご理解をお願いいたします。



★村の財政計画（普通会計支出） 平成18年度から23年度合計額（単位億円）

支出	昨年財政シミュ	今年の財政計画	前年比%
人件費	63.9	62.8	98.3
扶助費	15.5	15.5	100.3
公債費	18.8	20.0	106.3
普通建設事業費	18.9	45.4	240.6
物件費	32.2	36.5	113.2
補助費	38.5	38.3	99.5
積立金	4.2	7.8	184.8
繰出金	34.1	34.5	101.3
その他	2.3	2.6	113.5
合計	228.4	263.4	115.3

※財政シミュ＝財政シミュレーション

議員

7月に村が実施した『合併反対が65%』の結果について、村民の意向をどのように評価されたか伺います。

村長

回収率が60%を超えたことは一定の評価ができます。その中で合併に反対（どちらかというところ反対含む）が65・1%であったことは重く受け止めて、今

『合併反対が65%』
重く受け止めたい
関 克也 議員

後は単独自立の村を作っていきます。

議員

今年6月の『合併の中間報告会』で村民に公表した財政計画は、1年前の『財政シミュレーション』と比べて、6年間の普通建設事業を2・4倍に増やしています。これだけ増やすと財政的に相当きびしいと思いますが、増額した理由をお聞きます。

村長

合併に関わる内容であり、まちづくり交付金事業や長生中学校本校舎の建設などを加えたことから大きく膨れた内容となっていますが、必ずしも固定化したものではなく、バランスの取れた計画と執行に努めたいと考えます。

議員

これからの村づくりに村民の意見を反映させるための体制や方策を考えていますか。たとえば自治会ごとに村政懇談会を

実施するなどについて村の見解をお聞きます。

村長

公募による委員を含めた総合開発審議会などの、今ある組織を十二分に活用していきます。

総務課長

村政懇談会是要綱を作っており、村民から申請があれば村から出向きます。

教育施設の耐震診断実施と結果の公表を

議員

小中学校施設で、耐震診断の結果がどうなっているのかを伺い、その公表を求めます。また学校施設の整備計画についてお聞きます。

村長

千葉県は各市町村の耐震調査結果を、今年3月末に新聞で公表し、現在、文部科学省のホームページで見ることができます。

長生中学校本校舎は昭和37年の建築で、45年経過し建て替えが必要であり、来年度から事業に取り組み計画です。

長生中特別教室と高根小学校体育館については、ともに昭和55年の建築で比較的新しいので、今後二次診断をおこなう、必要な場合耐震補強工事と考えています。

議員

文部科学省によれば、答弁のあった3つの村の施設は「耐震性がない」施設に分類されています。早急に二次診断（耐震診断）を実施し、結果を村民に公表してほしいかどうか。

学校教
育課長

長生中学校は来年から建て替えのための調査（耐力度調査）を行います。他の施設は二次診断をできるだけ早く行います。

議員

耐震化に関わる国の補助は十分でないので、補助の充実を国に要求してほしいがどうですか。

学校教
育課長

機会があれば要望していきます。



長生中学校

*閣議員から他に

このような質問もありました*

◎国保税について

安全・安心してくらせる 生活環境整備の実現を

阿井 市郎 議員

18年度

決算について

議員

住民の日常生活関連事業や身近な要望にこたえる財源措置はどのように確保するのか伺います。

村長

生活に密着した事業については、実施計画にそって適正な事業執行に努めます。

議員

緊急性の高い事業や費用対効果の大きい事業等は、優先順位をつけて実施時期を示すべきと思うが、当局の見解を伺います。

企画財
政課長

実施計画をたて、順位をきめて実施してまいります。

安全・安心の
生活環境について

議員

救急患者が地区外の医療機関に搬送されている現状の解消と、地域医療体制の充実について伺います。



村長

医師や看護師の不足を解消できるような国や県に要望していきたいと考えています。

議員

重症患者をドクターヘリで搬送するために、夜間でも使用できるヘリポートの建設をすべきと思うが、当局の見解を伺います。

村長

今後、県に要望してまいります。

議員

子供の虫歯予防として、「フッ素うがい薬で口を洗う」虫歯予防対策に努め、医療費の削減をはかるべきと思うが、当局の考えを伺います。

村長

保育所は、すでに実施して保護者から喜ばれていますが、学校での実施は考えていません。



フッ素うがい薬で虫歯予防

合併問題について

議員

住民アンケートの結果だけで合併協議会からの離脱を決められたが、今後の村政運営に問題はないか伺います。

村長

村民の意を受けて、離脱を決めたので、問題はないと考えています。

議員

村長の責任と判断で合併協を離脱されたが、のちに住民や議会に責任を転嫁させることがないように、村長の所見を伺います。

村長

自分の責任において、離脱を決めました。合併協からの離脱した責任を議会や住民に転嫁する考えはありません。

議員

合併がなくなると、単独での行政運営となるが、住民負担を値上げしないで、住民サービスの向上がはかれるのか、具体策を伺います。

村長

村民との協働が大切であり、ひいては住民負担の節減がはかれると考えています。

救急病院の 適切配置について

片岡 啓治 議員

議員

現在、夷隅・長生・市原・山武地域は

救命救急センターが整備されておらず、特に山武、長生地域では3次医療機関の整備が急務となっております。ひとつの方策として「仮称九十九里地域医療センター」の構想があるのですが、どのような状況か伺います。

村長

山武地域では、地域内3つの公立病院再編を目的とした九十九里地域医療センター計画が進められております。

その一環として昨年8月に山武広域行政組合管理者から長生郡市広域市町村圏組合管理者あてに、同計画への参画の要請がありました。

大学病院の 誘致について

議員

山武・長生・夷隅保健医療圏で基準

病床数が平成22年度まで379床超過しており、病院誘致をすることは難しいと承知しています。医療過疎といえるこの地域の将来を見据えて、大学病院の誘致は必要と思いますが、村長の考えを伺います。

村長

将来的には最良の選択と思いますが、

先進事例を見ると、多額の財政負担を伴う例が多いようです。また、一番の障害となるのが病床数超過です。つきまして長生病院の方向性について、専門家の意見を求める一つの方法として、医療コンサルタントに調査、検討を依頼しており、9月末までに結果が報告されます。管理者会議を開き、今後のあり方を決定

してまいります。

議員

早急な改善、住民への情報開示の充実を要望します。

改善が急務な 地域医療について

議員

医療法に基づく病床数の整備につい

て伺います。

村長

医療制度改革に伴ない、県では今年度で計画の見直しを進めています。不合理な点については、県、国へ改善の要望をしています。



公立長生病院

*片岡議員から他に

このような質問もありました*
◎AEDの追加設置予定及び担当者等への講習会の実施について

ご意見箱など 開かれた村政 前進

鈴木 征男 議員

議員

村長就任以来3年間の「村長相談室」の実績を伺います。

村長

平成16年から今年9月まで、36回49人が利用し、効用としては外出支援サービス、信号機の設置など要望が実現しました。



議員

村長ご意見箱は、設置以来、村への要望150件、苦情51件、提案35件、その他含めて270件が寄せられています。声を

どの様に生かすか、お聞きします。

村長

苦情など回収した時点で、早急に解決すべく担当課と協議し対応しています。

議員

住民アンケートに寄せられた意見は村政運営にどの様に生かしますか。



村長

ご意見は2042件寄せられ、住民の貴重な意見として次年度以降の事業計画、予算編成に生かしたいと思っています。

議員

開かれた村政をすすめる決意をお聞きます。

村長

村政懇談を行います。入札制度の改善をすめ、村長交際費のインターネット公開をしています。これからも開かれた村政の公約に添ってもっと広げたいと思います。

独居者の緊急時の体制の充実を

議員 独居・高齢者世帯の緊急時の対策についてお聞きします。

村長 独居高齢者は、983世帯で災害時、緊急時に援助が必要なリストを整理し、支援の行動計画を作成します。

議員 緊急通報装置の設置、普及数をお聞きします。

村長 設置基準は、独居の高齢者、介護を要する高齢者世帯のみで、現在設置数は70世帯です。

議員 独り暮らしの方への安否確認についてお聞きします。

村長 緊急通報装置設置では、月一度の安全センターから声かけがあり、これ以外の高齢者世帯は民生委員が安否確認をしています。地震など大規模災害時は自治会、ご近所の援助が大きな力になります。

議員 緊急通報装置の設置費用はどうか、お聞きします。

福祉課長 全額利用者負担の場合、設置費用と

利用料で年額7万1千円程度です。村の助成は生活保護・所得税非課税者は無料、それ以外の方は5段階に分けた負担です。



緊急通報装置

後期高齢者医療は当面凍結を

議員 昨年、政府・与党が国会で強行した

「後期高齢者医療制度」は75歳以上の高齢者が、国保や社会保険から脱退させられ、新しく加入する『医療保険』で、来年4月からスタートします。それは高齢者に過酷な医療制

度といえます。村民への周知をどの様に行ないますか。

村長 9月末に自治会ルートで、リーフレットを配布します。

議員 保険料の負担は、どうなるのか伺います。

村長 新制度の加入者数は7月末で1739人で、保険料はまだ未算定です。

議員 保険料を滞納した場合、「資格証明証」の発行をしないよう求めます。

住民課長 国保と同様、支払い能力のある滞納者で悪質な場合発行します。

議員 後期高齢者医療制度は凍結し、根本的な見直しをするべきと思いますが、村の考えを伺います。

村長 できれば「凍結」を組織を上げて、国に要望してゆくことも考えて行きたいと思っています。



村内住宅の耐震検査補助について

酒井 洋樹 議員

議員

耐震診断などに対する積極的な事前支援をおこなうことは、東大地震の直接的被害をうける恐れのある長生村にこそ必要です。村には耐震診断に対する補助制度はありますか。ない場合は今後、導入する予定はありますか。

また、住民が全額自費でも耐震診断、または耐震補強をおこないたいと希望したときに、村には村内事業者を紹介・斡旋する制度はあるのかを伺います。

村長

現在、耐震診断に対する補助制度は長生村だけではなく、近隣市町・千葉県にもありません。今後、必要に応じて検討して

いきます。

また、業者の斡旋は個々の利害関係もあるので、商工会ならびに千葉県建築士事務所を通じての斡旋が適当であると考えています。

一部事務組合の問題について

議員

8月10日の合併協議会における離脱表明は、一歩間違えば組合に対する村の負担が大幅に増え、その結果住民の負担が増す可能性があります。

そして、村長が組合存続の法的根拠としているものは誤った解釈であり、ならん長生村の主張が通る状況ではなかったことは明らかです。

このような状況において村長は、一部事務組合に対してどのような配慮をしたのか伺います。

村長

準備会でも協議会でも、組合存続を主張してきました。これが最も大事なことです。





広島市町村圏組合事務所

合併問題について

議員

今回の住民アンケートの設問には「あなたは自立を選択しますか」というものではなく、結果から

も住民は自立を求めていることは明らかです。さらに全員協議会において「自らの意思と責任で離脱した」と明言しているにもかかわらず、村長が各所で「住民が自立を選択したので、長生村は自立の村づくりをおこなう」と吹聴していることは、住民への責任転嫁であり無責任であると考え、見解を伺います。

村長

アンケートは1市6町村の枠組みでの合併について意見を伺ったものです。

別の枠組みについては聞いていないので今後の問題は別とし、結果として重く受け止めています。

酒井議員から他にこのような質問もありました

◎合併協議会における村長と一部委員の職務放棄について

◎職務中に一宮町・睦沢町の議会を傍聴していた件について

今後の行政と新たな合併問題について

山口 裕之 議員

議員

石井村長は、新たな合併問題として、白子・長生・一宮との合併についてはどのようなお考えですか。

村長

海岸3町村や、他町村いずれからの申し入れや要請は一切ありませんし、私としても何ら考えていません。

議員

長生村の基幹産業である農業従事者の育成や小規模農家（特に4ha未満）の支援をどのように考えていますか。

村長

生産調整達成者で集荷円滑化対策に加入しているなど一定の条件はありますが、米・麦・大豆等の価格が暴落したら、交付金

による9割の収入補填を行っています。

また、個人には、農業近代化資金及び農業経営基盤強化資金を借り入れた方には、利子補給をしています。

議員

子育て支援の拡大として、小学校6年生までを対象に、医療費を無料化にする考えはありませんか。

村長

村は、千葉県に先行し、対象年齢を拡大してきましたが、少子化対策、子育て支援対策の更なる充実を図る必要があると考えますので、財政状況等を勘案しながら検討してまいります。

村内の交通事故対策について

議員

尼ヶ台セブンイレブン付近の変形交差点や金田ベイシア付近の国道から「しまむら」へ抜けるT字路への信号機の設置、旧有賀商店付近のカープにおける通学歩道の設置についての進捗状況を伺います。

村長

尼ヶ台交差点は数年前から県に何度となく要望しており、昨年は

角の住宅へガードレールを設置していただきました。

「しまむら」に抜けるT字路については、早期の設置について茂原警察署に引き続き要望します。

建設課長

通学歩道の設置については、順調にいきます。11月末には完成します。

議員

金田オートアールズとJOMO石油の間に設置されているポールの効果は村はどう考えていますか。

建設課長

安全策として、現時点では有効な手段だと考えています。



尼ヶ台付近変形交差点

第3回臨時会

平成19年第3回臨時会が、8月17日に開会されました。

本臨時会では、長生郡市合併協議会規約の変更が上程され、原案どおり可決しました。

長生郡市合併協議会 規約の変更に関する協議

8月10日に開催された第8回長生郡市合併協議会において、石井村長より離脱の表明がありました。それを受けて市町村では規約の改正が必要となり、8月17日に臨時議会を開催しました。

内容としては、長生村を除く規約の一部改正です。

第1条中「長生村」を削り「7市町村」を「6市町」に、第4条では「市町村」を「市町」になど、合併協議会の委員、職員、経費の負担等、長生村を除き引き続き合併協議会を1市6町で進めるものです。

会議の席上、村長から、住

民アンケート結果を厳粛に受け止め、合併協議会から離脱をするための規約の変更に関する協議をお願いしたい、とのあいさつがありました。質疑では、一部事務組合の存続について意見が出されましたが、今後協議することとなり、結論にいたりませんでした。

合併推進の議員からは、規約の変更に対する反対の意見もありましたが、「長生村が離脱しても合併に向かう」と他の市・町長間で合意しているため、長生村が反対をすれば他市町が合併できなくなる、と判断し原案の通り可決しました。

合併問題調査特別委員会

8月6日、第9回長生村合併問題調査特別委員会が開催され、過日実施された住民アンケートの結果報告と、それに伴う今後の対応について執行部と協議しました。

アンケートは対象者1万2544人中、回答者は7869人、回収率62・7％で合併賛成26・8％、反対65・1％、また、一部不正回答があったとの報告がありました。質疑では、一村のみ離脱した場合、広域市町村圏組合の負担金が大幅に増額になり、住民生活に支障をきたすこと

が懸念されるが対応策が示されず、村長が記者会見等を予定していたため、再度協議することになりました。

8月8日、第10回合併問題調査特別委員会では、8月7日の新聞報道について、既に合併から離脱するという記事が載った件で、当初村長はアンケートの結果を受けて、議会と十分協議して態度を決定することになっていたにもかかわらず、先の協議事項が解決されぬまま、単独で結論を出したことで執行部と議会との協議は整いませんでした。

全員協議会

9月21日、定例会終了後、議会全員協議会が開催されました。

協議事項は、本村にある県立長生高等技術専門校を東金校と統合し、長生校を廃校とする案が県から示されたため、

村としての対応を議会に聞きたいとする内容でした。

現在、同校の生徒数は21名で、村内生徒は4名、県の方針として、「訓練生の応募・入校が少くない科目は廃止・統合を進める」ということで、

9月20日、第11回合併問題調査特別委員会が開催され、小泉委員長より9月10日第9回長生郡市合併協議会の報告があり、今回の合併協議は、当面休止することとなりました。



議員からは、「村が希望すれば存続するのか。」「建物や3万8千mの土地は無償で譲渡、返還（昭和36年県に寄付）してくれるのか。」「今後防災避難所として機能できるのか。」等の質問や意見が続出し、今後の県の動向を確認しながら再度協議することとなりました。



議会活動の

報
告

坂城町と小布施町を視察

(議員全員)

10月17・18日に議会では、長野県坂城町と小布施町の行政視察を行いました。坂城町は、工業の発展がめざましく、県下町村ではトップレベルの工業力を有しており、新産業でまちおこしを行い、自主財源の確保を図り『自律』する独自のまちづくりを進めていました。小布施町は、長野市の東に位置し、長野県では一番小さな町ですが、産・学・官・民が協働して、景観に配慮した美しいまちづくりを目指していました。それぞれの地域の特徴を生かした「まちづくり」を学ぶことができました。



Memo

議会では定例会や臨時会以外にも、研修視察や会議などさまざまな活動があります。今回はその中でも主だったものとして、研修視察などの模様を報告します。

手をつなごうスポーツ大会

(議長・教育民生常任委員)

10月21日、村体育館において、長生村身体障害者福祉会の主催により「手をつなごうスポーツ大会」が開催されました。障害者と健常者が一緒に、スポーツを通して楽しみ、心身のフレッシュとなる楽しいイベントでした。送迎や、おにぎり・焼きそば・豚汁の準備など、多くのボランティアの支えがありました。議会から議長と教育民生常任委員全員が参加し、運営の手伝いをしたり、障害者と一緒にゲームをし、楽しい交流の日となりました。「議員に親しみを持った」「初めて参加したが、来年も来たい」等の声が寄せられました。



議員・職員合同研修会

(議員全員)

8月21日、本村文化会館において、長生郡6町村の議員・議会事務局職員の合同研修会が開催され、来賓として衆参両院の3名の国会議員の方々(秘書代理出席数名)をはじめ、各町村長、県町村議会議長会事務局長の皆様が出席されました。研修会につづく講演会では、講師に長柄町工アロビクスクリニック院長、清水正比古先生をお招きし、「循環器系予防医学と健康管理、高齢者医療について」講演いただき、身体のおちこちが少しづつ悪い「ちよい悪オヤジ」の時点での予防の大切さ、また、少子高齢化に向けての予防医学や早期診断による健康管理等、わかりやすく解説していただきました。



議会日誌

*議長・議員が出席
または参加の行事

9月	20日	合併問題調査特別委員会
	21日	第3回定例会
	21日	全員協議会
	22日	八積保育所運動会
	28日	広域組合決算審査特別委員会
10月	2日	広域組合研修視察
	3日	一松・高根保育所運動会
	6日	住民福祉大会
	14日	議会研修視察
	17日	茂原市市制五十五周年記念式典
	20日	手をつなごうスポーツ大会
	21日	ちよつせい子ども祭り
	28日	
11月	30日	議会だより編集委員会
	31日	九十九里水道企業団定例監査
	1日	広域組合定例会
	3日	村民文化祭・産業まつり
	6日	決算審査特別委員会
	7日	
	8日	議会だより編集委員会
	9日	九十九里水道企業団例月出納検査
	13日	議会運営委員会
	22日	町村議会議長全国大会
	28日	
	30日	
12月	1日	一松小百周年記念式典
	3日	長生郡市負担金審議会
	5日	第4回定例会



産業まつり



子ども祭り



8月31日、平成19年第2回長生郡市広域市町村圏組合議会定例会において、中村秀美議長が広域議会議長に当選、就任されました。郡市合併協議会も休会となり、広域議会の活動がますます重要な時期と思われる。中村議長のご活躍をこ期待します。

議長組合
中村組
広域議長就任

皆さんも議会を傍聴しませんか!!

議会は、村民の皆さんの声を村政に反映させる場です。審議がどのように行われているのか、皆さんも傍聴してみたいかでしょう。

議会の《定例会》は、3月・6月・9月・12月の年4回開催されます。



次の「12月定例会」は12月5日(水)から開かれる予定です。

また、議会だよりに対するご意見感想をお寄せください。お問い合わせは下記まで。

長生村議会事務局

直通：32-4744 FAX：32-1194

メール：gikai@vill.chosei.chiba.jp

編集後記

今年も残すところ1ヶ月あまりとなりました。

今年は猛暑の夏となり、残暑も厳しい秋の入りでしたが、皆様におかれましては健やかにお過ごしのこととご推察申し上げます。

去る9月には、合併協議も休止となり、財政状況も厳しき折、議員一同、更に気を引き締め諸問題に対し、陣を締め直し、努力する覚悟を確認したところです。

今号は、8名が一般質問を行ない充実した内容となりました。

議員・職員合同研修会や長野県の坂城町と小布施町に視察におもむき、将来の本村の運営に関し参考にすべく熱の入った討論を交した他、諸行事も実施され、実りの多き数ヶ月だったと思います。

寒さ厳しき折、お身体には十分ご慈愛されます様ご祈念申し上げます。

(編集副委員長)